

第3学年 進路通信

令和6年度(2024年度)
第3学年 進路係 第3号
令和6年4月11日(木)

📖 クラスに「進路コーナー」を設置しました



各教室に『進路コーナー』を設置しました。高校のパンフレットなどの資料は、まだ昨年度のものですが、ぜひいろいろな資料を見て、自分に合った学校をさがしてください。(資料は教室の外に持ち出さずに、教室内で見てください)

高校のパンフレットは、校種別のボックスに整理してあるので、元の場所に戻すようにしてください。



灰色の箱 → 公立高校	空色の箱 → 私立共学校
黄色の箱 → 私立男子校、私立女子校	赤色の箱 → 通信制高校、技能連携校、サポート校
紺色の箱 → 神奈川県外の学校	緑色の箱 → 進路資料

進路選択の情報として、みんなの大切な資料です。取扱いにはご注意ください。

学校説明会のチラシや神奈川全県模試のパンフレットなどが、『進路コーナー』の机の中の白トレイに入っているので、ご自由にお取りください。自分の実力を試すため、また試験を受けることに慣れるために、模擬試験なども計画的にご利用ください。

『進路コーナー』の机の中に、プラスチックのケースに入った『進路見学等 事前連絡用紙』があります。これから高校などの学校説明会や体験入学、文化祭などが始まります。それらに参加する際には、高校などへの参加申し込みとは別に、担任の先生にこの『進路見学等 事前連絡用紙』に必要事項を記入して提出していただきます。高校などからの問い合わせなどに対応する場合がありますので、なるべく参加する前に提出をお願いします。

(※ この用紙は、高校などへの参加申込書ではありません。ご注意ください。)

その他、次の①～⑥の資料もあります。ぜひご利用ください。(※ いずれの資料も昨年度のもです。ご注意ください)

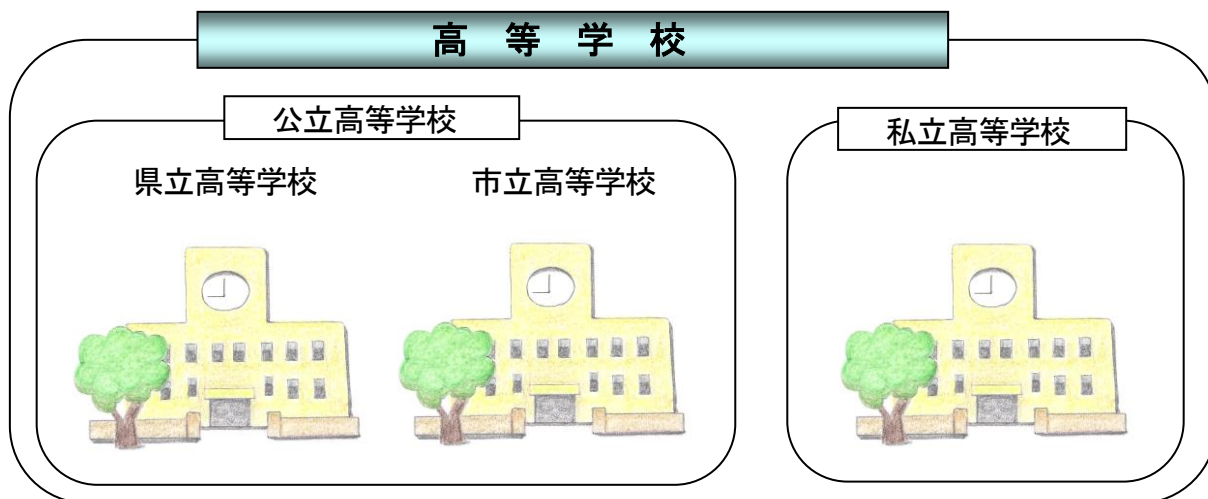
- ① 『令和6年度神奈川県公立高等学校入学者選抜募集案内』 1部
- ② 『輝けきみの明日』 (神奈川県) 1冊
- ③ 『神奈川県 高校受験案内』 (声の教育社) 2冊
- ④ 『首都圏 高校受験案内』 (晶文社) 1冊
- ⑤ 『神奈川県高校入試 過去問題集』 (創育) 1冊
- ⑥ 『神奈川県公立・国私立高校入試の面接にのぞむ』 (伸学工房) 1冊

高等学校の種類と学習内容

高等学校には、どのような種類がありますか。

公立、私立の違い

神奈川県内の高等学校は、設置者により公立と私立があります。公立は県や市が設置者となります。私立は民間の学校法人が設置者です。



公立と私立では、教育方針や費用など、様々な違いがあります。各校で特色ある高校づくりが進められているので、よく調べて選びましょう。

課程の違い

学習時間や学習方法などの違いで、次の3つの「課程」に分かれています。

課程	特徴
全日制	中学校と同じように、朝から午後まで授業を行います。修業年限（卒業までにかかる年数）は3年間です。
定時制	夕方から夜にかけて授業を行います。また、一部、昼間に授業を行う学校もあります。修業年限は4年間を基本としますが、3年間で卒業できる仕組みもあります。
通信制	教科書等を用いた自学自習が基本です。科目ごとに定められた数のレポート（報告課題）を提出し、添削指導を受けるといった形で学習を進めていきます。月に2回程度スクーリング（面接指導）に出席し、勉強の仕方や内容について教わります。修業年限は3年以上です。毎日登校してきめ細かな指導を受けたり、ITを活用したりして学ぶこともできる、県立横浜修悠館高等学校もあります。

■学年制と単位制の違い

学年制では、中学校と同じように1年ごとに進級していきます。単位制では、学年の区分がなく、必要な単位数を修得することで卒業できます。単位というのは、一定の学習量を表すもので、50分授業の場合は1年間に標準で35回受けることで1単位と数えます。